

C 4 協働学習

学校の壁を越えた学習

イラストに見るICT活用のポイント



- Web会議システム等を使って、オンライン授業、分散教室・在宅学習を行います。臨時休校の対応だけでなく、不登校支援、外部講師との連携など、教室の機能を拡張させることができます。
- 遠隔地とWeb会議システムで結ぶことで、各地の専門家からも助言をもらいながら学習を進めることも可能になります。

具体的な授業場面



◆ Web会議システムの活用

家庭にいる児童生徒と教室の教師がWeb会議システムを使ってオンラインで繋がります。健康観察をはじめ、教師の板書をライブで映像配信して、自宅でも学習することができます。話すタイミングのズレや反応の見取り方など、新しい指導技術として経験しておく必要があります。



◆ 国内外をつないだ遠隔授業

例えば水族館のない鳥取県では、県外の水族館の学芸員とオンラインで繋がったり、時差の少ないオーストラリアの学校と交流し、季節が反対の南半球とも距離を気にせず一緒に学習できます。特に海外の人と交流することで、改めて日本の文化や伝統について考える貴重な機会にもなります。

活用に向けての教員のセルフチェック

- Web会議システム（Meetなど）を使った経験がある。
 - Web会議システム（Meetなど）の会議を開始できる。
 - Web会議システム（Meetなど）に児童生徒を招待できる。
 - Web会議システム（Meetなど）上で資料の共有表示ができる。
 - Web会議システム（Meetなど）のチャット機能を使うことができる。
- ※セルフチェックで☑がつかない項目は、校内での教え合いや自主研修で活用できるようにしましょう。